

令和元年度

第1回

教育課程編成委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回教育課程編成委員会 議事書

日時：令和元年8月26日（火）14：00～

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：LOHAS BEAUTY GROUP 伊藤秀一先生

スタジオ エーワン 小出誠司先生

松林校長 柏原教務主任 中澤主任

【議 事】

1. 校長挨拶

お陰様で今年度先生方のご協力で職業実践専門課程校の許可をいただくことができました。認定していただいて終わりではなく、なお一層気を引き締めて学生の満足度を向上させていきますので引き続きご協力お願いいたします。

2. 自己評価委員会、学校関係者委員会報告について

令和元年度自己評価、自己点検中間報告、学校関係者委員会の報告を行った。変更事項と継続的に向上した部分を基準ごとに行った

(基準1) **総括**教育の方針として笑顔・挨拶・礼儀・感謝の気持ちを持ち「おもてなしの心」で丁寧な接客ができるような学生を育てていく。学校関係者の委員より、笑顔で挨拶できる学生が多い。きちんとした理念のもとで教育しているので現状維持でよいとい意見をいただいた。また、今年度から始めた2学年選択授業において、課題のある点は前向きに検討して改善するという案をいただき、学生アンケートと講師の先生方からのアンケートを参考にしつつ、来年度に繋げていく方針である。

教育課程編成委員コメント 小出委員

・人材育成には笑顔・挨拶・礼儀・感謝の気持ちが一番大事である。この気持ちをしっかりと専門学校で学び、笑顔・挨拶・礼儀・感謝の気持ちを心得て就職に活かして欲しい。

(基準2) **総括** 職員の働き方改革により、時間内での指導ができるようにコンテスターの指導と、コンテスターでない学生の合同練習を輪番で行い、コンテスター以外の学生指導が手薄にならないように工夫を行った。レベルの差があるので、一人一人に密に指導することは難しかった。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

・美容室でも従業員の働き方改革では工夫を行わなければならない状況である。一番は時間が短くなることでレベルが落ちてしまわないようにすることである。難しいが、進めていかなければいけない課題である。

教育課程平成委員コメント 小出委員

・やり方によって、気持ちが生徒に繋がっていくと思うので、短い時間で集中して行うよう指導していられるのも良いと思う。

(基準3) **総括**

・2学年選択授業のほか、準福祉理美容師、パーソナルカラー検定、ビューティビジネス科ではブライダルプランナーの授業を行っている。また、カット授業やカラー授業は各クラスにサロン講師に行っているが、打ち合わせを密に行っているのでクラス差は出ていない。

・成績評価をわかりやすく公表していく。

・精神面で弱い学生が多くなってきている。入学前からお休みが多かった学生もいる。せつかく目

標をもって入学してもらっているのに、救いきれない。姉妹学級に工夫をしていくとともに、メンターとしての教員講習を行っていききたい。

学校関係者委員よりカウンセリングの工夫も行っていくといいのではとご意見をいただいた。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・年々若い人たちは繊細になってきているので、サロンで新人を注意する際も、言葉を選んで注意している。カラー授業は今年度よりサロン講師が行っているが、どんな様子でしょうか。

学校より 卒業後にダブルスターを取得できるという目標があるため、真剣に取り組んでいる。やんちゃな学生ほど、夢中に取り組んでいる。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

カットは難しいがカラーは楽しそうと思う学生が増えてきている。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・精神面の弱い学生が多くなってきていて、先生方もご苦労されていることがうかがえる。先生方の講習はしていかれるといいと思う。

(基準4) **総括** 休退学者が出ないように家庭との連絡を密に取り合う。家庭の問題と、学生としての取り組み方の指導としては、ある程度のラインを引きつつ、家庭との協力体制で学生指導を行う。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・休退学者をなくしていくためにも家庭問題を理解していく必要はあると思うが、原因がそこにある場合でも入り込みすぎない指導が理想ではあると思う。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・資格試験や検定など、受験者全員を合格させることは並大抵ではないと思う。だからこそ技術以外のサービス接遇検定なども、頑張って取れた資格は、就職活動でアピールできるとよい。

(基準5) **総括** 業界全体の働き方の向上と、卒業生との協力体制をとっていく。学校関係者委員より面貸し店舗が増えてきて、従業員の引き抜きも懸念されている。在学中の教育を行ってほしいとの意見が出た。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・コミュニケーションが煩わしく感じる若い人が増えている中、面貸し店舗も一つの選択肢になっている。在学中にメリットデメリットをしっかりと教え、正しく情報を仕入れるような人材に育てていくのがいいと思う。自分の技術は宝である。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・美容師の新人から3年目までの離職率が4割~5割とされている。会社の理念や目的、方向性をしっかりととらえ、笑顔・感謝の気持ちを忘れずにいけば、引き抜きなどにもとらわれないと思われる。学校の教育理念や方針を教育してほしい。

(基準7) **総括** HPの充実とインスタグラム

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・美容学生は高校生のあこがれでもあるので、おしゃれ感をもう少し出せるよう、学生に協力してもらい、学生の作品などもオシャレに上げていけるといいと思う。オープンキャンパスの来校者には、夏休みなどでナガコレ先生のインターンシップに参加申し込みができるように、学校だけでなく、サロンとの協力体制で美容に携わる人を増やしていきたい。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・丸子修学館で、美容の仕事についての講演依頼がある。高校生には人気の職種である。保護者の方にも美容の仕事の良さを知ってもらい、安心して美容に勧めてもらえるようにしていかなければ

ればいけない。

重点目標について

教育活動

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・学校の学生の様子を見ると挨拶や礼儀はちゃんとできている。先生方の指導が生きてきている。グループワークやボディはサロンでも取り入れていて、新人には2~3年目のスタッフが教育係としてついている。孤独にならないためにも必要である、美容のスキルは計り知れなく、先生方も決して多くはない人数で対応していて大変だと思う。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・挨拶・返事・礼儀・整理整頓は社会に出ても基本中の基本。早くきれいに片付ける、挨拶は自分から笑顔でまっすぐ相手を見て、という基本を美容学校で身に付けて卒業できるとよい。

学校より 挨拶はできているが返事ができない学生が多いと思う。

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

返事は慣れの部分もある。サロンでも最初からできる人、できない人さまざまである。習慣づけられるとよいのではないか。

学生支援

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・カウンセリングなどの学生支援は必要なことで、10人に1人は心に病気を持っているといわれる世の中である。
- ・授業では全学年全員ではドライヤーが使えないため、ファイナルまでできず、講師のストレスにもなっているようだ。水回りも増やしたほうがよいと思われるが、早急にあったほうがよいと思われるのはフォトスタジオである。作品をアピールするにはフォト知識や技術があったほうがよい。美容師にヘアデザインやメイクの指導をしていただき、カメラマンにカメラの使い方や、撮影の仕方などの教えていただく授業も魅力的である。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・ボランティア活動に参加する学生が少ないのは残念である。人と触れ合う職業であるので、美容を目指す延長として自分のためにも積極的に活動に参加していただきたい。

学校より 募集のかけ方に工夫をし、活動参加者を増やしていきたい。

学生募集

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・ナガコレ先生など、サロンと上手に協力し合い、学生募集につなげていきたい。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・卒業生が協力体制でいることが素晴らしい。それだけ良い学校であるということがうかがえる。

3. カリキュラム、行事計画について

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・国家試験では素晴らしい作品が並んでいるので、それほど授業に費やさず、他の技術を学ぶ時間や人間性を磨く時間にしてもよいのではないかと感じるが。

学校より

- ・すんなりと技術ができる学生ばかりではなく、なかなか上達できない学生がいる中で、今の授業時間でも間に合わせるので精いっぱいである。全員合格させるには、国家試験課題の授業時間は現状維持で行きたい。

- ・最新の技術で授業に取り入れていけそうな技術の情報の協力をお願いしたい。

4. 学生の様子

- ・長期休暇明け、体調不良やメンタル面での理由で欠席または遅刻をしてくる学生がちらほらいるが、クラス替えの動揺もだいぶ慣れて落ち着いてきている。コンテストで成長したコンテストター中心に人間力が向上してきているように思われる。2学期は専科の授業もある中、卒業見込み試験があり、職員が学年をまたいで指導に当たる場面が増えていくと思われる。職員間でも連絡を密に取り合い、学生に不安を与えないように指導していきたい。
- ・就職状況はAクラス 15名 Bクラス 18名 Cクラス 18名内定をいただいている。長野に就職したいがどのサロンにしようか迷っている学生、東京のサロンを受けたが落ちてしまい、二次募集に臨む学生や、落ちてしまってやる気になれなくなっている学生もいる。東京内定者は県内に比べて2割程度である。長野で魅力的なサロンが多いというのも県内就職者が多い一因であると思われる。長野のサロンが積極的に学校教育に関わっていただいていることも、高校生にも良いアピールポイントである。

5. 業界から

教育課程編成委員コメント 伊藤委員

- ・技術力や学習能力、家庭環境など幅広い学生なので、指導も大変だと思われる。保護者の考え方や家庭問題に入り込むことはできないので、美容とはというところで、先がイメージできるように話をしていくしかないと思う。
- ・このところ通信として美容師資格を取得していきたいという人が増え、サロンに何名か高校生が見学に来ている。お金がかからない地元でという考えの人が増えていると思う。

教育課程平成委員コメント 小出委員

- ・「国家試験・資格試験をとる、就職する」がゴールではなく、その後の美容に携わる者としての人生が大事である。お客様とのコミュニケーション、より良い人間関係を気付くには、人間性を磨くことが必要である。学生には技術はもちろんだが、人間性が磨けるような指導をしていただきたい。

次回予定 第2回教育課程編成委員会 令和2年3月24日(火) 14:00～